

ヨークベニマル 大高耕一路社長インタビュー ～ 社長就任3年目、振り返りと今後の戦略～

ヨークベニマル代表取締役社長の大高耕一路氏は、社長就任から2年間の振り返りや2025年度の振り返り、今年度の重点政策等について次のように説明した。

■社長就任から2年間の振り返り

① 従業員の幸せが最優先

社長に就任してから今年3年目を迎えたが、コロナが終わったようなタイミングからスタートし、中東情勢の悪化やウクライナ・ロシア戦争などもあり、原材料や燃料、賃上げなどもあった。また、ベインキャピタルさんに出資いただき、セブン&アイの持分法適用会社となるなど、大きな変化があった。3月にはヨークパークの開業やデリカ新工場も稼働し、色々な意味で大きなスタートであった。

社長に就任し最初にやったことは、業績よりも従業員の幸せを最優先に考えるということであった。

当社に入社して7年近く様々な店舗を回ってきたが、耐震性を含め、従業員がまず安心して働ける環境を整えることが、結果的にお客様が安全に買い物ができる環境であると考えており、この2年間でやるべきところはほとんど改善してきた。

また、この2年間でサービス残業的な不正打刻はほぼなくなり、年に2回の7連休に関しても取得率が90%超となった。残業が月間45時間を超えないオペレーションの整備を強化したことで、全社で従業員の意識が劇的に変わってきた。

さらに男性の育休も本格化し、去年は40%を超えた。2年前の1桁からすると、大きな意識の変化といえる。今年度は100%にしていきたい。



株式会社ヨークベニマル
代表取締役社長 大高 耕 一 路 氏

② 採用は社長の仕事

社長就任の直前にニトリホールディングスの似鳥会長にお会いした際、「採用は社長の仕事だ」と教えていただいた。似鳥会長ご自身も学生さんと積極的に話をされていると伺い、内定候補者の学生たちと懇談会やランチなどで意見をいただいた。特に今年の、内定候補者からいただいた最初の質問が「社長として、経営判断する時に最も大切にしている基準は何ですか？」ということだった。

私は「従業員を大切にすること。従業員の幸せを一番大切にしたいと思っている」と答えた。

※続きは正規版にお申し込みください。